

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52202	教育心理学 Educational Psychology	井手 裕子	専門	2	必修	2年前期
<b>科目の概要</b>						
<p>教育心理学は幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解することを全体目標とした科目の内の一つに位置づけられる。教育場面におけるこの過程を、様々な心理学的知識を用いて明らかにする学問が教育心理学である。本科目ではまず、教育心理学が扱う様々な理論について紹介する。特に、乳幼児期の発達プロセスやその特徴について、様々な研究を紹介しながら解説する。そして、それらの知識を保育や教育場面において、どのように応用、実践できるかについてディスカッションしながら理解を深めていく。</p> <p>これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 教育心理学の方法 ② 愛着、自己、言語、遊びの発達 ③ 学習理論、動機づけ ④ 知能、パーソナリティ、アセスメント ⑤ 発達障がい、状況に応じた支援			(1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程 一般目標: 幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。 到達目標・・・1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。2) 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。 (2) 幼児、児童及び生徒の学習の過程 一般目標: 幼児、児童及び生徒の学習の過程に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。 到達目標・・・1) 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。2) 主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。3) 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。				
	働きかけ力 実行力	事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる				
考え抜く力	課題発見力	事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握したりすることができる。				
	計画力					
	創造力	事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる。				
	傾聴力	発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる。				
	柔軟性	グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる。				
	状況把握力					
	規律性	他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト：伊藤+健次 編 「新時代の保育双書 保育に生かす教育心理学」 (株)みらい ※その他、プリントは適宜配布する。 参考文献：幼稚園教育要領（平成30年3月最新版）						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 発達心理学 資格との関連: 幼稚園教諭二種免許、保育士						

学修上の助言	受講生とのルール
事例検討やシミュレーションを重ねることで、汎用的思考力である高次解釈(なぜ)と低次解釈(どのように)を自在に使えるようにすること。この別々の解釈水準の思考力を持つことで専門的科目の習得が容易になる。注:高次解釈、低次解釈という用語の意味は、難易度や優先順位とは無関係である。前者は物事の中心的意味(理由、目標)に関する思考であり、後者は副次的意味(手段、二次的目標)に関する思考である。	調べ学習、発表、グループワーク、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。ほぼ毎回、課題プリントが課されるため、必ず提出すること。

### 【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性・調べ学習等の自発的な学習を行うことができる (実行力)事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる (課題発見力)事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握したりすることができる (創造力)事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる (発信力)グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる (傾聴力)発言者の意見を自分の立場に置き換えて、意図を汲み取りながら聴くことができる (柔軟性)グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる (規律性)他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。また、授業中に携帯電話を不必要に操作しない ※10点満点の素点を評価点とする。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
その他	90	①	✓	・調べ学習をプリントで行い、提出することが求められるが、提出の割合で評価する。一の位は四捨五入する。 例)15回のプリント配布のうち、10回提出・・・67%のため、60点。
		②	✓	
総合評価割合	100			

### 【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できればA。3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できればS。	筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できればB。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できればC。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション(教育心理学とは)、教育心理学の評価方法を学ぶ	講義 調べ学習 グループ討議	教育心理学とは何か、保育との関連、等が理解できる。また、教育心理学で用いられる評価方法(観察法、実験法、検査法、調査法、事例研究法)がシミュレーションできる。	予習: テキスト第1章を読む。 復習: プリントを見直す。	90  90	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
2週 /	子どもの発達を学ぶ 愛着理論、ストレンジ・シチュエーション法、自己、言語、認知、遊び、子どもの「なぜ」	講義 800字レポート作成(プリント課題として) 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	愛着理論、ストレンジ・シチュエーション法、自己意識、言語機能、認知発達の段階を理解できる。愛着のタイプ別支援、遊びの指導についてシミュレーションできる。	予習: テキスト第2~3章を読む。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
3週 /	学習行動の基礎を学ぶ (学習理論、記憶) ポスターセッション①	講義 調べ学習 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 ポスター製作	心理学の理論的潮流である行動主義、認知主義について理解できる。また、知識や記憶、学習とその転移・構え、分散および集中学習について理解できる。	予習: テキスト第4章を読む。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
4週 /	学習行動の基礎を学ぶ (学習理論、記憶) ポスターセッション②	講義 調べ学習 前回の進捗へのフィードバック ポスター発表	心理学の理論的潮流である行動主義、認知主義について理解できる。また、知識や記憶、学習とその転移・構え、分散および集中学習について理解できる。	復習: プリントを見直す。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
5週 /	学びの動機づけを学ぶ (いかに子どもの動機づけを高めるか) ポスターセッション①	講義 調べ学習 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 ポスター製作	生理的および社会的動機、内発的および外発的動機、学習意欲と学習無力感について体験的に理解できる。特に学習意欲を高めるための方法についてシミュレーションできる。	予習: テキスト第5章を読む。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
6週 /	学びの動機づけを学ぶ (いかに子どもの動機づけを高めるか) ポスターセッション②	講義 調べ学習 前回の進捗へのフィードバック ポスター発表	生理的および社会的動機、内発的および外発的動機、学習意欲と学習無力感について体験的に理解できる。特に学習意欲を高めるための方法についてシミュレーションできる。	復習: プリントを見直す。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
7週 /	知的能力の発達を学ぶ (ビネー式、ウェクスラー式知能検査の体験) パーソナリティの発達、性格を学ぶ (PFスタディの体験)	講義 800字レポート作成(プリント課題として) 心理診断法の体験 グループ討議	知能とその発達の推移、測定方法、その他の能力との関連性について、パーソナリティがどのように形成されるか(遺伝説・環境説等)、パーソナリティの評価方法(類型論・特性論・性格検査・適応不適応)について体験的に理解できる。	予習: テキスト第6~7章を読む。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性
8週 /	教育・保育における評価 (客観的な評価方法)、評価バイアスを乗り越える 方略を学ぶ ポスターセッション①	講義 調べ学習 ポスター製作 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	客観的で先入観の入らない平等な教育評価とその目的・方法を把握し、保育の実際における活用方法をシミュレーションできる。	予習: テキスト第8章を読む。	180	課題 発 見力 発 信力 傾 聴力 柔 軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	教育・保育における評価 (客観的な評価方法)、評 価バイアスを乗り越える方 略を学ぶ ポスターセッション②	講義 調べ学習 前回の進捗へのフィ ードバック ポスター発表	客観的で先入観の入らない平等 な教育評価とその目的・方法を把 握し、保育の実際における活用 方法をシミュレーションできる。	復習: プリントを見直す。	180	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
10週 /	発達障がいのある子どもの 教育・保育を学ぶ (知的障がい、発達障が い、ADHD)	講義 調べ学習 視覚教材によるモデリ ング学習と要約 前回の配布プリントのフ ィードバックおよび解説	発達障がいの子どもの特性を把 握し、どのように支援できるかシ ミュレーションできる。	予習: テキスト第 9 章を 読む。 復習: プリントを見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
11週 /	保育のなかで生かす教育 心理学を学ぶ (集団、自己、仲間、環境)	講義 調べ学習 視覚教材によるモデリ ング学習と要約 前回の配布プリントのフ ィードバックおよび解説	集団、役割、自己コントロール、友 人関係、環境を話題とし、実際の 支援例を読み解いて対応をシミュ レーションできる。	予習: テキスト第 10 章を 読む。 復習: プリントを見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
12週 /	就学に向けての準備戦略 を学ぶ (幼・保・小連携)、小 1 プ ロブレム、「気になる子ども」	講義 調べ学習 グループ討議 前回の配布プリントのフ ィードバックおよび解説	就学までに目指す到達点を理解 し、気がかりな子どもの事例や保 護者からの相談例を読み解いて 対応をシミュレーションできる。	予習: テキスト第 11 章を 読む。 復習: プリントを見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
13週 /	家庭ぐるみの教育的支援 を学ぶ (事例、相談、カウンセリ ングマインド、ABC モデル、3 カラムの法則)	講義 調べ学習 グループ討議 前回の配布プリントのフ ィードバックおよび解説	家庭で培われる対人関係の基礎 (愛着、基本的信頼感等)を把握 し、現代社会の家庭の課題や、教 育相談とその実施に求められるカ ウンセリングマインドについて体 験的に理解できる。	予習: テキスト第 12 章を 読む。 復習: プリントを見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
14週 /	子どもをめぐる教育的問題 を学ぶ(1) (園・学校でありがちな問題 行動等)	講義 調べ学習 グループ討議 前回の配布プリントのフ ィードバックおよび解説	児童虐待・早期教育等を話題と し、実際の支援例を読み解いて 対応をシミュレーションできる。	予習: テキスト第 13 章前 半を読む。 復習: プリントを見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
15週 /	子どもをめぐる教育的問題 を学ぶ(2) (園・学校でありがちな問題 行動等)	講義 調べ学習 グループ討議 前回の配布プリントのフ ィードバックおよび解説	不登校・不登園等を話題とし、実 際の支援例を読み解いて対応を シミュレーションできる。	予習: テキスト第 13 章後 半を読む。 復習: プリントを見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力